天皇皇后両陛下ペリリュー御訪問10周年記念式典： 宮路副大臣御挨拶（4月9日（水））

御列席の皆様、アリー（パラオ語で「こんにちは」）。
外務副大臣の宮路拓馬です。

天皇皇后両陛下ペリリュー御訪問10周年記念式典
に出席することができ、光栄に存じます。私は、2023
年8月に自民党青年部代表団の一員としてパラオを
訪問し、ペリリューにも参りましたので、今回が2回目
の訪問です。

本日、4月9日は、天皇皇后両陛下がペリリューを御
訪問され、「西太平洋戦没者の碑」に供花された日です。
ペリリュー州政府がこの日を州の祭日に指定されたこ
とにお礼を申し上げます。

ペリリュー島は、日本人にとって歴史的に特別な地
です。本年は戦後80年に当たります。先の大戦では、こ
のペリリュー島でも激しい戦闘が行われ、多くの人命が
失われました。この節目の年に当たり、戦争でお亡くな
りになられた全ての方々に対し、追悼の意を捧げます。

また、厳しい戦禍を体験したにもかかわらず、慰霊碑
や墓地の清掃、戦没者の遺骨収集などにお力添えを頂い
てきました、パラオ政府、ペリリュー州政府及び州民の
皆様に心から謝意を表します。昨年は集団埋葬地で多数
の御遺骨が見つかり、日本政府は、今後収集活動を加速
化していく予定です。活動に対する皆様の御理解・御協
力をお願いいたします。

言うまでもなく、日本とパラオは、価値と原則を共有する重要なパートナーです。長い歴史と友情のキズナを土台として、官民幅広く協力を深め、地域の安定と繁栄に共に貢献していく戦略的な関係を築き上げていきたいと思いを思います。

そのためにも、私も副大臣として、また一人の国会議員としても、これからも日パラオ関係の一層の緊密化に取り組んでまいりたいと思いを思います。皆様の御支援を宜しくお願いいたします。御静聴ありがとうございました。コム・クマル・メスーラン（パラオ語で「どうもありがとうございます」）。